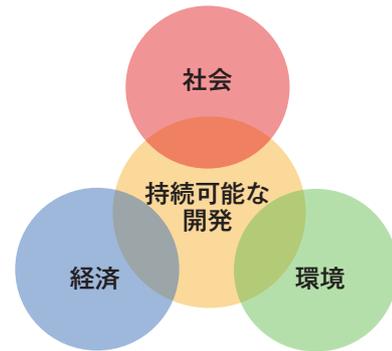


## 1 SDGs について

SDGs は、Sustainable Development Goals の略称（エスディージーズ）で、世界が抱える課題を解決し、誰一人取り残さない、多様性と包摂性（※）のある持続可能な社会の実現のため、平成 27（2015）年の国連サミットで決定した国際社会の共通目標です。

先進国・途上国全ての国を対象に、経済・社会・環境の 3 つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、「貧困」「保健」「エネルギー」「気候変動」など 17 の目標と 169 のターゲット（達成基準）が示されています。

※「包摂性」：誰一人取り残さないという考え方のこと



SDGs の 17 の目標は、大きく 5 つに分類できます。それは頭文字をとって「5 つの P」と呼ばれています。

- People（人間）
- Prosperity（豊かさ）
- Planet（地球）
- Peace（平和）
- Partnership（パートナーシップ）

17 の目標は、この 5 つをより具体化したものと言えます。



日本政府は SDGs の達成に向け、平成 28（2016）年 12 月に「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」を定め、17 の国際目標を、「あらゆる人々の活躍の推進」、「健康・長寿の達成」、「成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション」等の、8 つの優先分野に再構成し、その下に 140 の国内外の具体的な施策を指標とともに掲げています。

また、この指針は各地方自治体に対し、各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たって SDGs の要素を最大限反映することを奨励しています。

SDGs の達成には、グローバル、ローカルの枠組みを超えて、企業、NPO、個人、自治体などあらゆる主体が取組を進めていくことが必要とされています。

本県においても、県や市町村を中心に各主体が連携し、SDGs の達成に向けた様々な課題に取り組み、地域を持続的に成長させていくことが必要です。

これらを踏まえ本計画においては、第 3 章「みんなで創り上げるふくしまの将来の姿」において、本県の将来の姿を、他の地域よりも複雑な課題を抱える本県の目指す将来の姿の実現につながるものとして、SDGs という国内外共通で理解が得られる表現、世界の共通言語に照らして整理しました。

また、第 4 章「政策分野別の主要施策」において、施策が SDGs の 17 の目標のいずれの目標の達成に寄与するものであるかを示し、本計画の推進により SDGs の達成を目指すこととしています。